

MDグリーンインフラ工法

Green infrastructure construction method



舗装の支持力を確保しながら、樹木根系の生育環境を保全・創出。
根上がりによる舗装構造の破壊を抑制し「街路のみどり」と「舗装」の共存を図ります。
2022 年 国土交通省 先駆的な緑化技術開発のための実証調査パートナー に採用された、
樹脂製貯留構造体「アクアプラ®」を耐圧植栽基盤に適用したグリーンインフラ工法です。



前田道路株式会社

本店 〒141-8665 東京都品川区大崎 1-11-3 TEL:03-5487-0011

[HP] <https://ssl.maedaroad.co.jp/> 事業所一覧▶



耐圧植栽基盤システム

MDグリーンインフラ工法

Green infrastructure construction method

水と緑を整える街づくり

樹脂製貯留構造体 アクアプラ® で根系を誘導する良質な土壌空間を設け、街路部のみどりの健全な生育環境を形成。
樹木が持つ多様な機能を活用し、災害に強く、人に優しい街づくりに貢献します。

街路樹の生育環境の改善

安全な道路環境

健全な土壌と空気層の確保で、根系を誘導し根上がり・倒木対策

多様な生態系

固化材で改良されない土壌で、いきものに優しい土壌環境の実現

都市の暑熱環境の改善・地下水涵養

ヒートアイランドの緩和

気化熱や緑陰の充実による都市の暑熱環境の改善

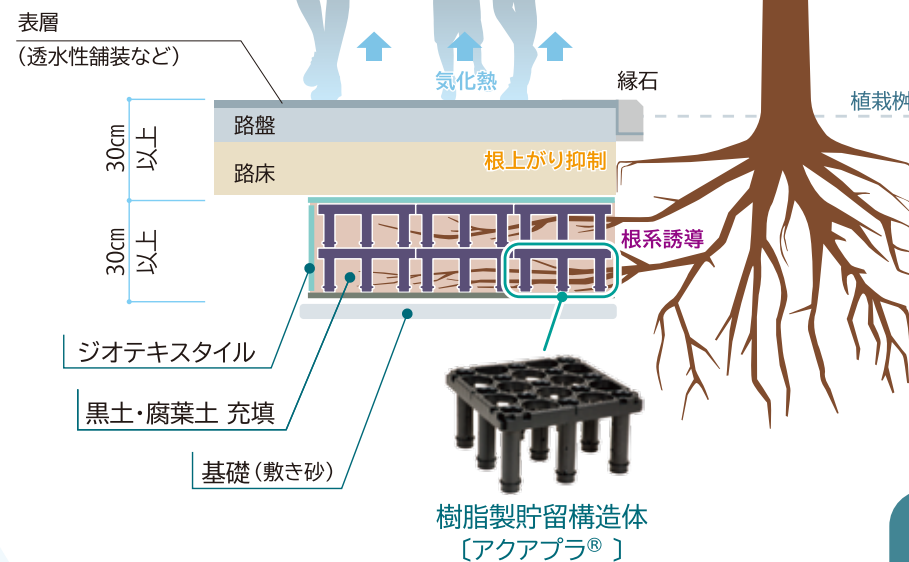
水害対策・火災延焼対策

健全な水循環

植栽基盤(土壌)の保水力と貯留浸透機能で雨水の流出を抑制

火災に強い街

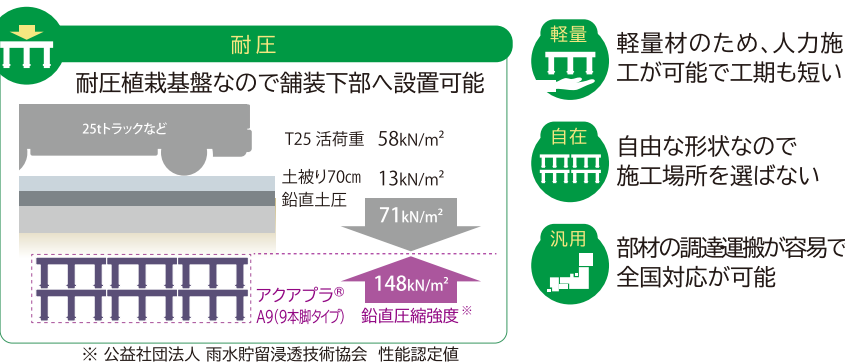
街路樹など都市樹木が健全に生育されて延焼を抑制



街路部の樹木が抱える問題



MDグリーンインフラ工法 の特長



施工方法〔既存樹の場合〕

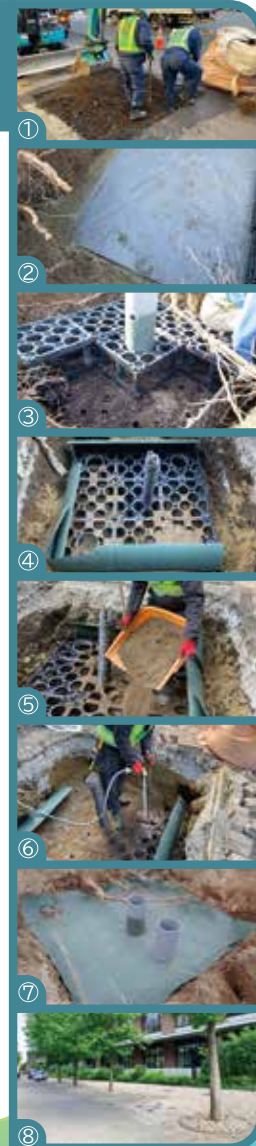
根系を保護しながら慎重に掘削・設置を行います

- 掘削(重機+手掘り) ①
- 底面シート敷設 ②
- アクアプラ® 設置(根の誘導) ③
- 側面シート敷設 ④
- 客土(黒土・腐葉土)充填 ⑤
- 水締め ⑥
- 上面シート敷設 ⑦
- 舗装復旧 ⑧

施工方法〔新植の場合〕

根を傷つける心配がなく、根の誘導も不要なため、既存樹の場合と比べて容易に施工できます。

適用場所



※ [アクアプラ®] は東急建設㈱、タキロンシーアイ㈱、㈱明治ゴム化成の登録商標です。